

プレゼンテーションシステムを 応用した営業CAIの導入

ハイパーカードを使用した
手作り教育システム

(営業部 営業計画課)

Introduction of Sales CAI Based on a Presentation System In-house Training Tool Developed Using Hyper Cards

(Customer Service & Sales Department,
Service & Sales Planning Section)

お客さまとの接点である営業では、お客さまサービスの向上を目指し、従来から教育に力を注いできた。しかし、若年層比率が高く、マニュアル等のように読んで覚える方法では、教育効果に限界があった。このため、電力技術研究所情報制御研究室でハイパーカード（簡易ソフト）を利用して開発した「プレゼンテーションシステム」を応用し、今回教育システムを導入した。パソコン時代の若者の感覚にマッチした教育方法で、新入社員等若年層のレベルアップを図るのが目的である。

We have been placing a lot of emphasis on the training of the sales work force which gives our customers, their first impressions of our company, for the improvement of customer services. But reading matter such as manuals has a limited effect in training the young generations who make up the majority of the sales personnel. For this reason, we introduced a CAI system which is based on a presentation system developed by the Information Control Laboratory of the Electric Power Research & Development Center, using Hyper Cards (simplified software). It is intended to develop the abilities of young employees by means of an innovative method which is most effective in motivating the young generations.

1 システムの特徴

CAI(Computer Assisted Instruction)システムは、パソコンとビデオテレビの二つのディスプレイで構成される。パソコン画面には、説明文や説明図が現われ、それに合わせ、テレビ画面には、光ディスクに収録されたビデオ映像が写し出される。

若年層向けということ、画面・ナレーションともにわかりやすいだけでなく、実務に即しながらも、ゲーム感覚の楽しいものを目指した。

- 例えば ○アニメーションによる説明
- 隠しボタン（プラスαの情報を説明）

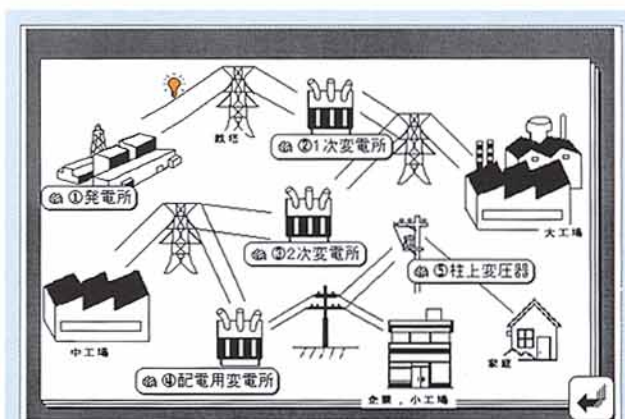
2 導入効果

必要な人が、必要な時に、必要な学習ができる。また、納得できるまで繰り返し学習できるので、受講者の学習効果のバラツキが減少する。さらに、従来の教育用ソフトのように「完成されたソフトを学習する」タイプではなく、初心者でも容易に扱えるハイパーカードを使用しているため、学習する側が自分達で勉強した事柄をソフトに追加・修正することにより、一層の教育効果を狙った。

3 今後の展開

平成3年度以降、大規模事業場から順次導入拡大していくとともに、ソフトのメニューを加え、内容の充実と利用拡大を図りたい。

また、各事業場の実情にマッチしたソフトを、自分達で簡単に作成できるよう、支援していきたい。



(1) この画面は、アニメーションで、発電から消費までの電気の流れを説明する。



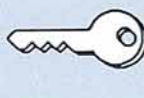
(2) 上記(1)の画面左上のボタン(💡)をタッチすると、このようにより幅広い知識を得ることができる。

〈隠しボタンの種類〉

◇ためになる情報シリーズ

◇プラスα情報シリーズ

◇かる〜く Quizシリーズ



パソコン画面の一例